

先輩移住者の鈴木勝さん(右から2人目)、井上純夫さん(同3人目)と意見交換するツアー参加者



想像膨らむ栗石移住

圏人
京7の
都住
首在

体験ツアーに参加

“先輩”の暮らし質問

大都市圏から地方への移住に関心を持つ人を対象とした「冬の栗石移住体験・交流ツアー」(しずくしい観光協会主催)は6、7の両日、栗石町内で行われた。同町は人口減少対策の一環として、都市部からの移住の受け入れに力を入れる。参加者は先輩移住者に仕事や地域活動、医療福祉など、暮らしに関わる率直な疑問をぶつけ、具体的なイメージを膨らませた。

首都圏と中京圏に住む7人が参加し、7日木勝さん(48)が疑問には同町中町のしずく館で移住者と意見交換。約20年前に横浜市から移り住んだ同町上笹森のオールド・タイム漆工房の井上純夫さん(61)と、大阪市出身で約10年前から暮らす同

井上さんは「仕事探しは甘くない。自家用車も必需品で生活費も安くはないが、工夫もまた楽しい」と、生活実感を率直に語った。

鈴木さんは「他の町と同じく利点、欠点はあるが、必ず豊かに暮らせる方法を見つけれれる。趣味など暮らしのテーマを見つけた方が良い」と助言した。名古屋から参加した会社員西尾弘之さん(63)は「具体的な生活のイメージがつかめて良かった。夏の栗石を見て家族と再訪

一行は雪原ウォーキング体験やいわて雪まつりを楽しみ、同町などが出資するまちづくり会社「コミュニティライフしずくしい」が高齢者住宅などを整備予定の町有地(同町沼返)を見学した。